

教科の目標

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につける。

学年の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

評価の観点

月	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6 7	生物育成の技術 発電の仕組み エネルギー変換の 基礎	生物育成の技術（農業・水産業・畜産業）の知識について理解している。 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と、エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について理解している。	生物育成の技術（農業・水産業・畜産業）について問題解決の工夫について考えている。 エネルギー変換の技術に込められた問題解決の工夫について考えている。	生物育成の技術（農業・水産業・畜産業）について考え、理解しようとしている。 主体的にエネルギー変換の技術について考え、理解しようとしている。
9 10 11 12 1	ラジオ製作 電子部品の知識 電子工作基礎 生物育成 ジャガイモの栽培	安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる技能を身に付けている。 生物育成の技術について学んだ知識を活かした栽培ができる。	問題を見いだして課題を設定し、電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに、製作の過程や結果の評価、改善及び修正について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりしようとしている。
2	エネルギー変換 と環境の関わり	生活や社会、環境との関わりを踏まえて、エネルギー変換の技術の概念を理解している。	エネルギー変換の技術を評価し、適切な選択と管理・運用の在り方や、新たな発想に基づく改良と応用について考えている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
主な評価方法		定期テスト 技能の習得状況 (作業の様子・作品の出来)	定期テスト 作品への工夫 レポート グループでの話し合い	提出物 振り返りによる自己評価 粘り強く学習へ取り組む姿勢

学習の進め方

- ・ 2週間に1回の授業のため、忘れ物には十分に気を付け、作業や課題に集中して取り組みましょう。
- ・ 実技に関しては、実技テストや机間指導による技能のチェックを行いましょう。
- ・ グループワークを中心とした作業の協力体制を大切に、お互いがサポートし合いましょう。